

K230.7

4

2



圖畫教育會編纂

圖畫教科書

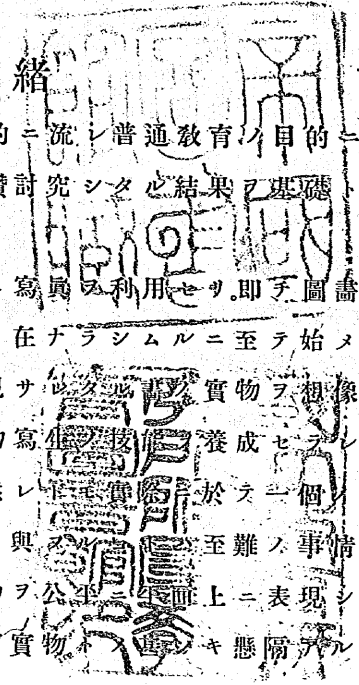
高等女學校用

第一年級第二學期

K2307
4
2



116-499



言

現今之學校ニ於ケル圖書教科書ハ専門的ニ流シ普通教育ノ目的ニ副ハザルモノ多シ本會ハ深ク之ヲ遺憾トシ
實際教授上ヨリ得タル經驗ニ本ツキ研鑽討論シタル結果ヲ基礎トシ文部省圖書教育調査委員報告書ノ主旨ヲ
モ參酌シテ茲ニ本書ヲ編纂セリ。

本書ハ寫實ノ技能ヲ養フ目的ヲ以テ特ニ寫真ヲ利用セリ。即チ圖書ハ目ト手トノ練習ヲ以テ最モ必要ナリトナ
スガ故ニ兩者ノ聯絡ヲ圖リ之ガ活用ヲ自在ナラシムルニ至テ始メテ其目的ヲ達セリト云フベシ。然ルニ在來ノ
教科書ハ單ニ臨本ニ依リ生徒ハ臨本ニ現サレタル寫實物ヲ想像スル餘裕ナクシテ殆ンド無意味ニ摸寫スル
ニ止マリ手ノミノ練習ニ終ルヲ以テ寫實物寫生ノ技能ヲ養成セズト云フモ不可ナシ。然ルニ圖書科ニ於テ最
モ至要ナルハ寫實物寫生ニ如クモノナシ。然レテ寫實物寫生ニ於テ一個ノ寫生教材ヲ示スモ多數ノ生徒ハ之ヲ適當ニ
見ルコト能ハズ。而モ多數ノ教材ヲ生徒ニ與スルハ至難ノ事情アリテ之ヲ實行スルコトハ到底容易ナラザ
ルコトト見做サルルガ故ニ寫真ハ天然物ヲ公平ニ表現シ寫實物ト在來ノ教科書ノ畫トノ如キ大ナル變
化ノ中間ニアルモノナレバ之ニ依テ先ヅ寫實物ト寫真トノ懸隔ヲ除キ寫實物ニ接近セシメンコトヲ期セ
リ。

寫真ハ寫實物ト空間トノ界線ヲ抽象的ニ知リ易カラシムル便アリ。而シテ其抽象的ニ現ス方法ニ至テハ流派ノ區
別ヲ生ズルガ故ニ本書ハ寫真圖ニヨリ東西各派ノ教師ヲシテ隨意ニ教授ニ資セシムルヲ得ベシ。寫真ニ依テ現
ハシタル物體ノ臨本ニ物體各部分ノ描法ヲ授ケ生徒ヲシテ自己ノ力ニ依リ全部ヲ完成セシメ寫實物寫生ノ力ヲ
養ヒ又摸本ニ依賴スル心ヲ避ケ應用ヲ自覺セシムルコトニ供セリ。

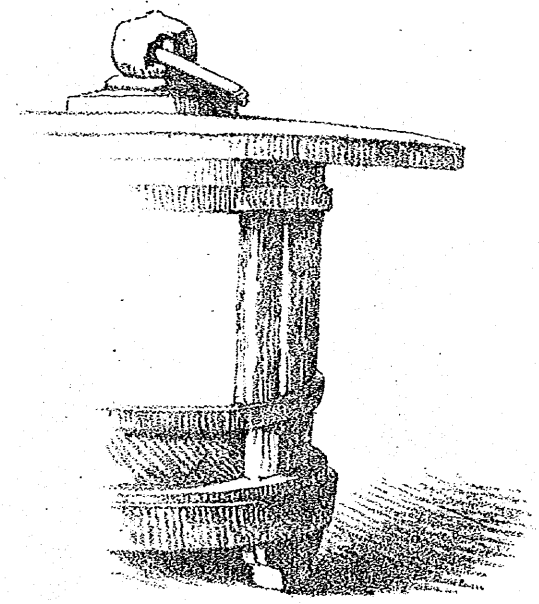
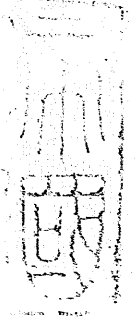
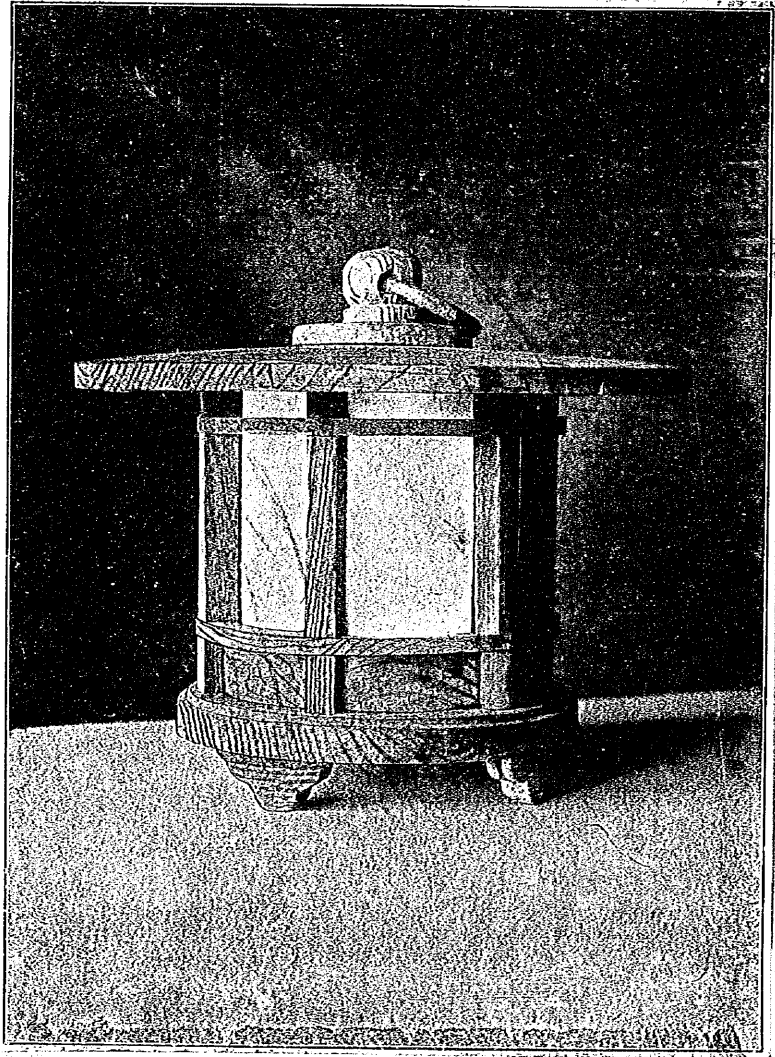
本書ハ特ニ又左ノ事項ニ注意セリ。

- 一 各學期ノ授業時數ニ應ジテ教材ヲ配列セシコト、
- 二 各學科トノ聯絡ヲ圖リシコト。



- 三 生徒ヲシテ精確ナル感念ヲ養ハシメンガ爲務メテ奇拔灑洒ナル如キ技術家流ノ描法ヲ避ケ習得ニ易カラシメタリ。
- 四 寫實ノ目的ヲ達セシメン爲實物ト臨本トノ季節ノ連絡ヲ圖リシコト。
- 五 初年級初期ニ於テ形體ノ觀察并ニ運筆ノ練習ヲ勉メシメンガ爲幾何形體ノ綜合ニ成ル物體ノ輪廓畫ヲ與ヘシコト。
- 六 材料ノ如何ニ係ラズ描寫スルヲ得ル技能ヲ養ハシガ爲毛筆・鉛筆・鐵筆ノ三種ヲ併用セシコト。
- 七 參考ト共ニ教材ノ不足ヲ生ジタル場合ニ備ヘンガ爲每學期教科書ノ終リニ參考畫ヲ插ミシコト。
- 八 應用ノ力ヲ養ハシガ爲各部分ノ圖ヲ與ヘ之ガ綜合ノ畫ヲ作ラシメ或ハ白描ノ畫ヲ與ヘ之ニ着色セシメル方法ヲ取リ且寫生・速寫・記憶・考案ノ力ヲ養ハシカ爲臨本ノ裏面ヲ用ヒテ物體ノ變化略畫及約束等ヲ與ヘ之ニ資セシコト。
- 九 工藝的思想ノ一部ヲ補ハシガ爲圖案ヲ課シ更ニ每卷表紙ヲ利用シテ之ヲ補足セリ。
- 十 圖畫科ハ精神ヲ過勞セズシテ興味ヲ伴ヒ實益ヲ收ムルニ好適ナル學科ナレバ夏季休暇ヲ利用シテ平素ノ不足ヲ補ヒ練習ニ好都合ナル時間ヲ無益ニ消費セシメザルガ爲夏季自習用一冊ヅツラ各學年ニ加ヘシコト。

圖畫教育會會長 正 木 直 彦 誌

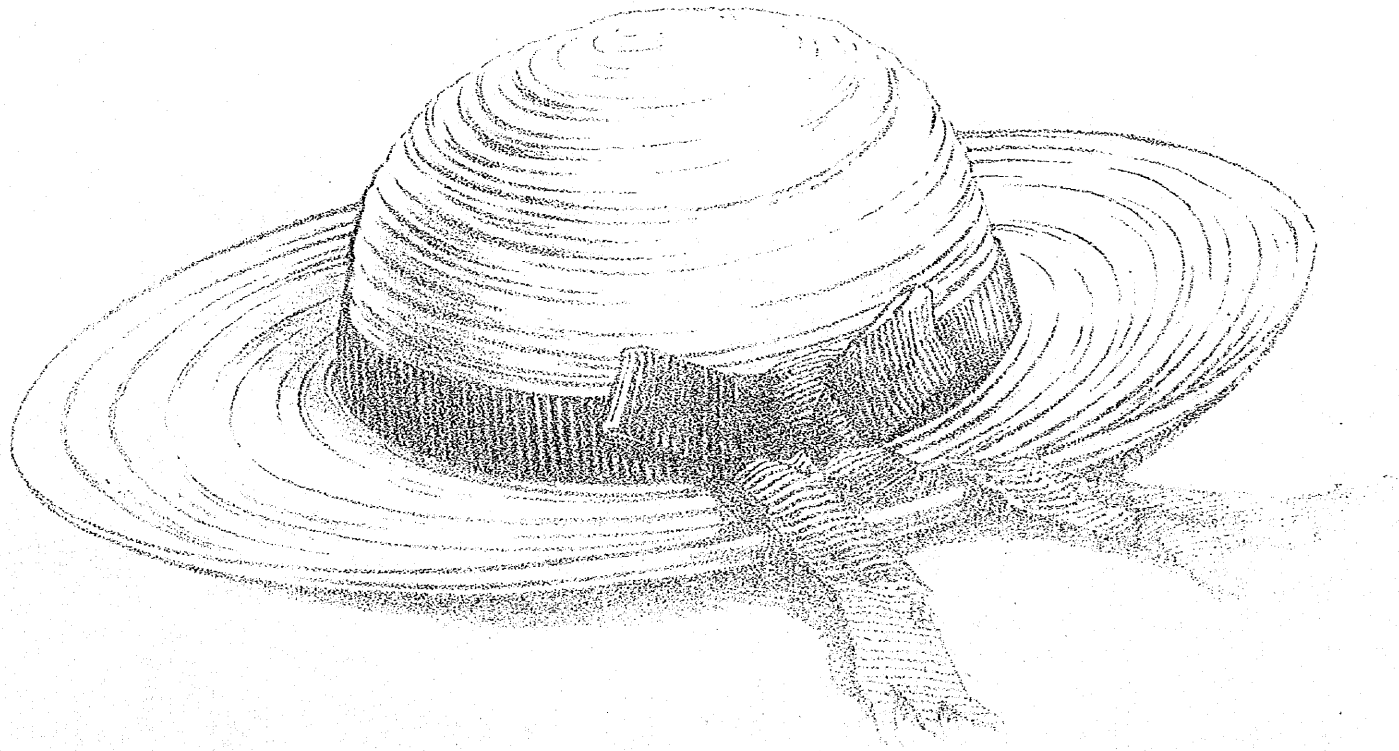


釣燈籠



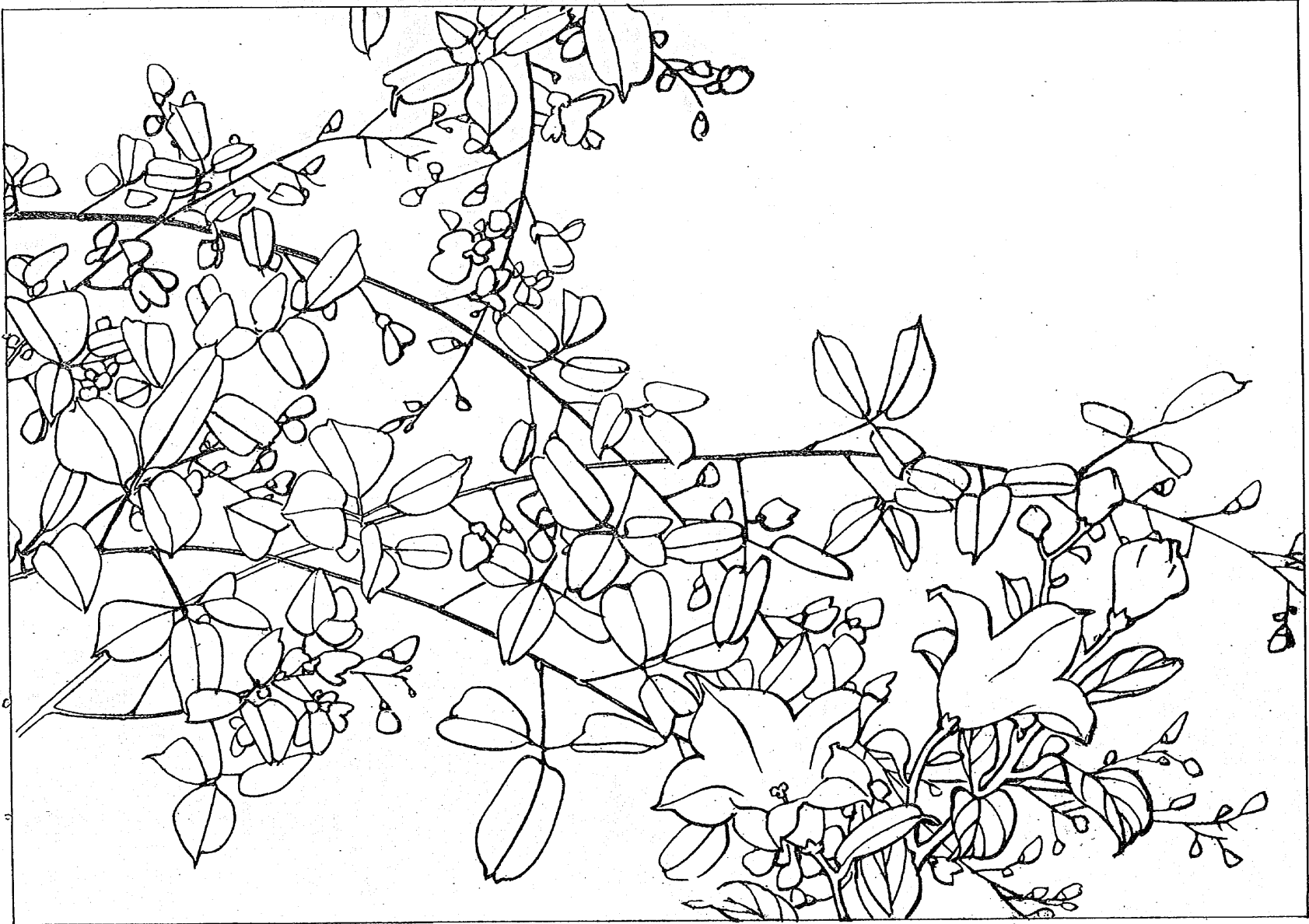
女
二ノ二ノ二
二ノ二ノ二
二ノ二ノ二

蓮

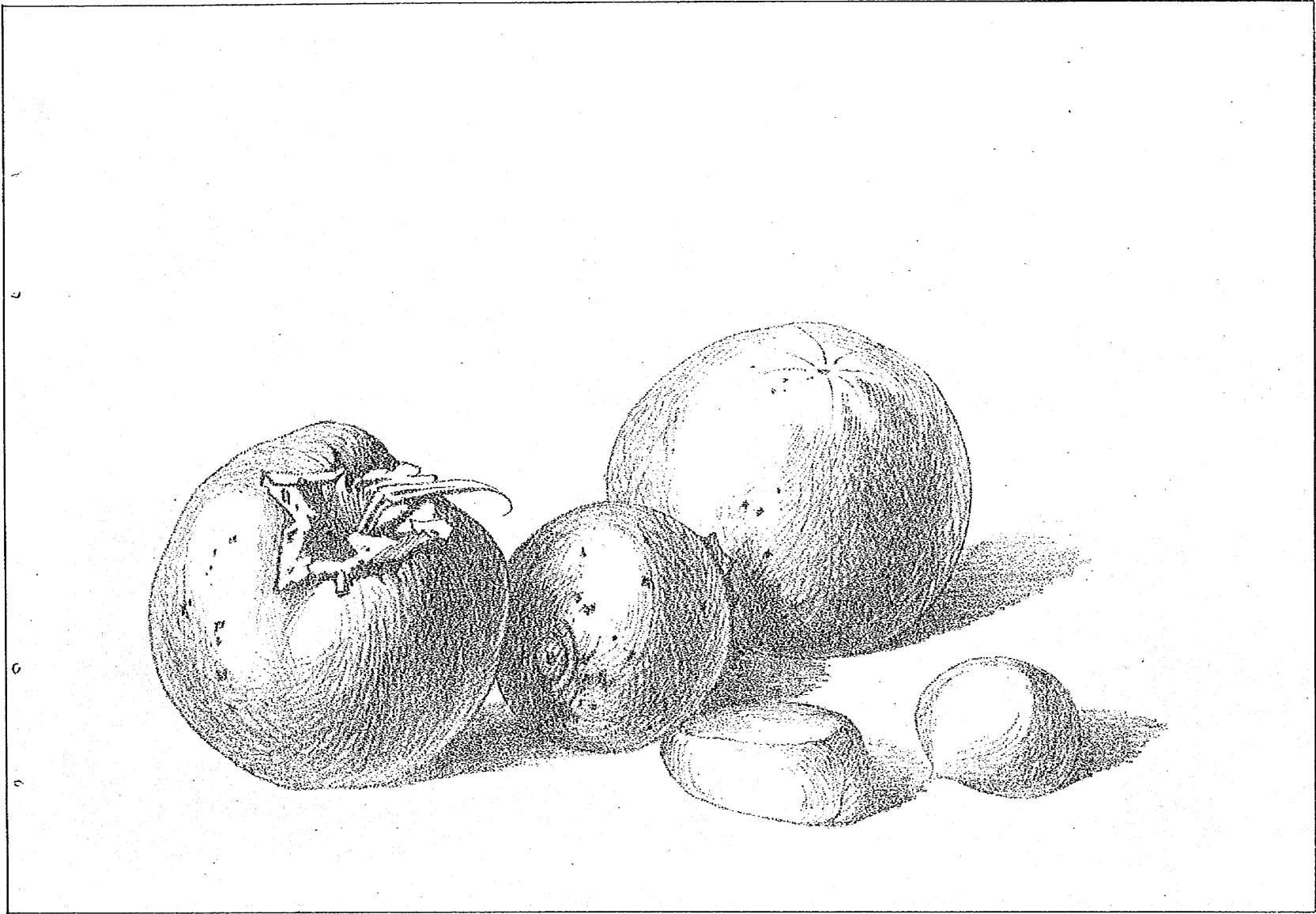


帽子

高等女學第一學年第二學期、四



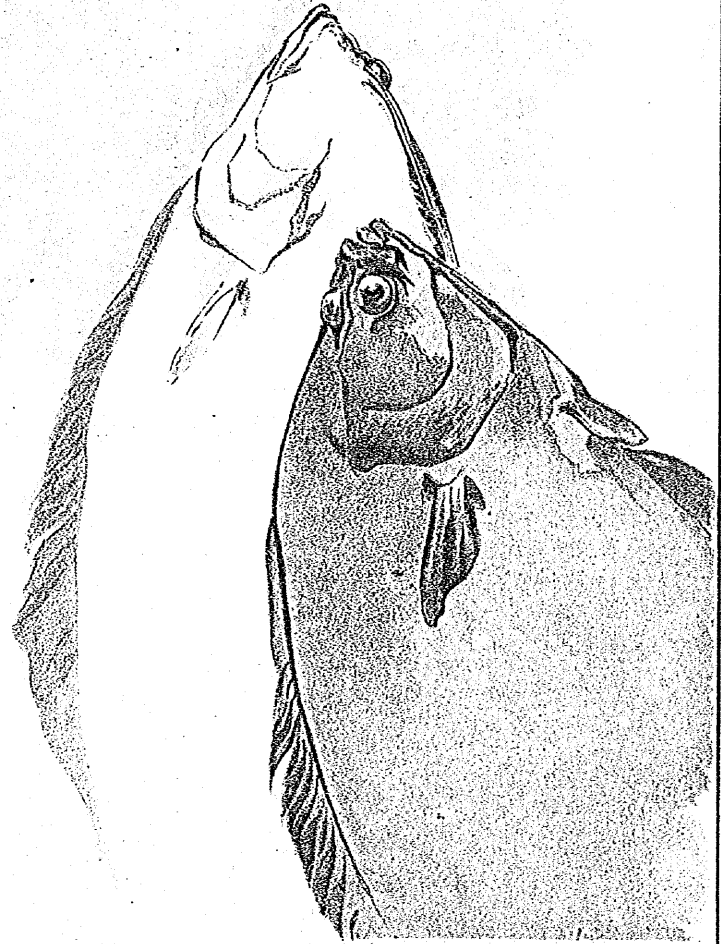
萩 = 桔梗



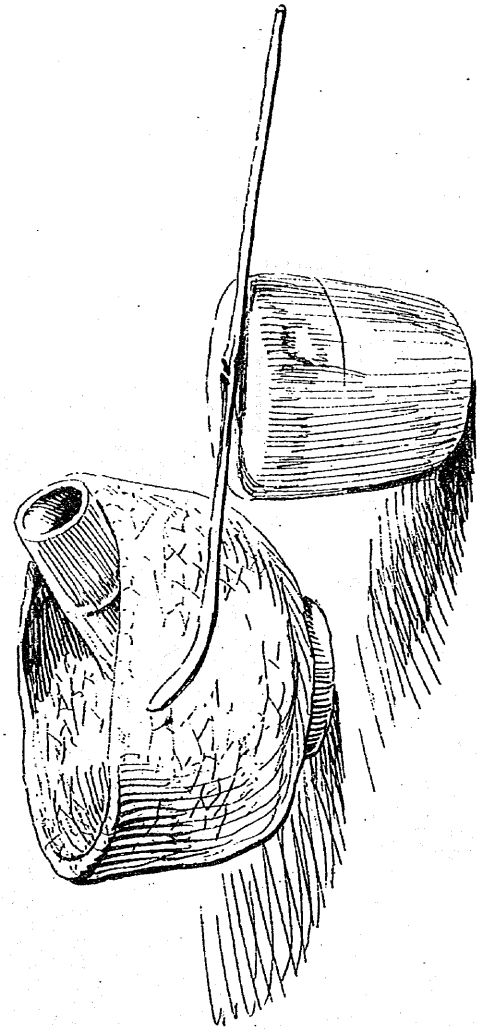
柿栗



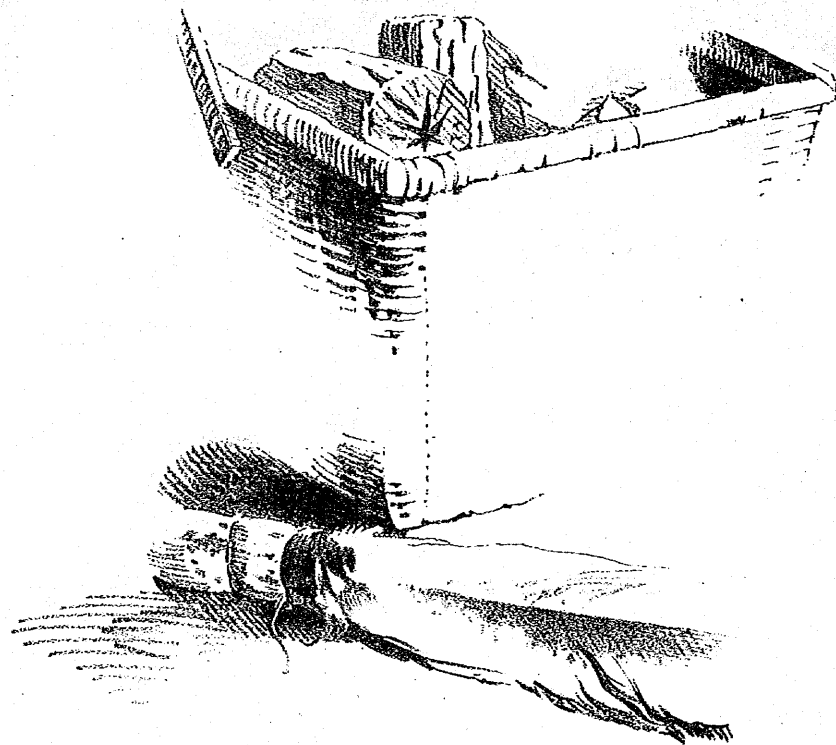
鯉



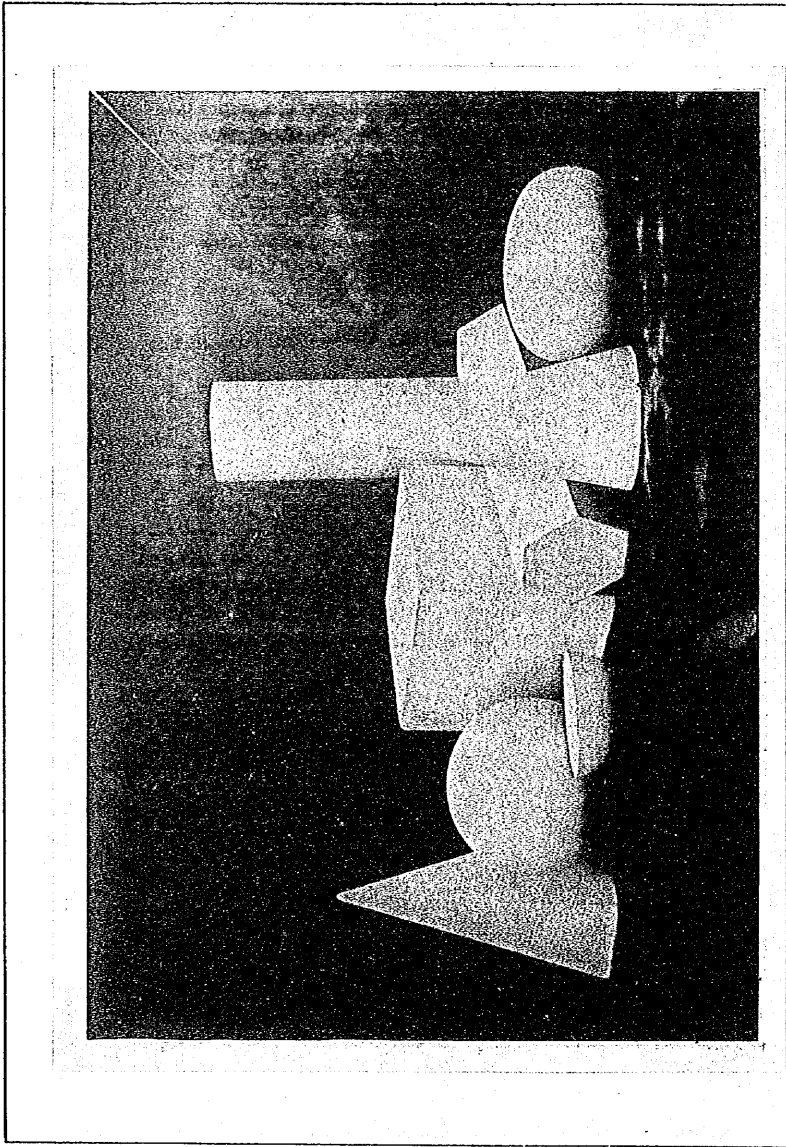
鯉



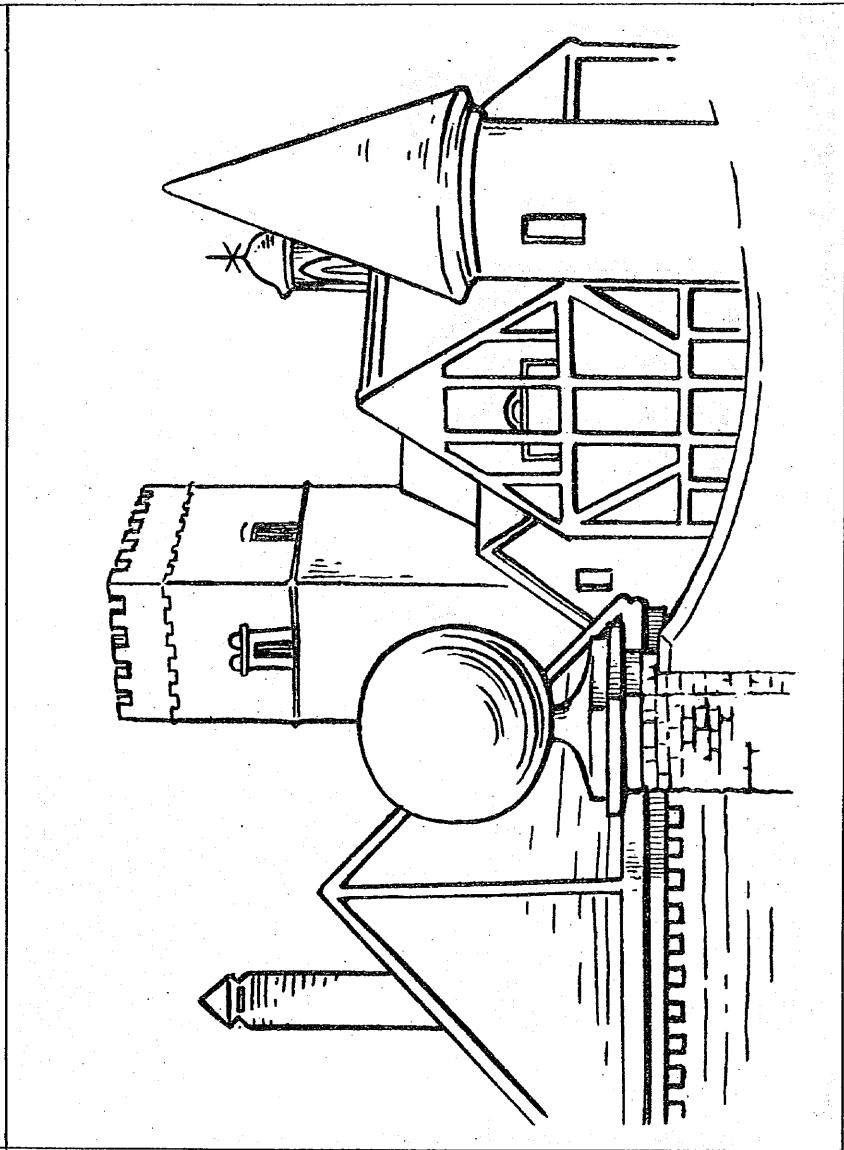
茶器



炭取

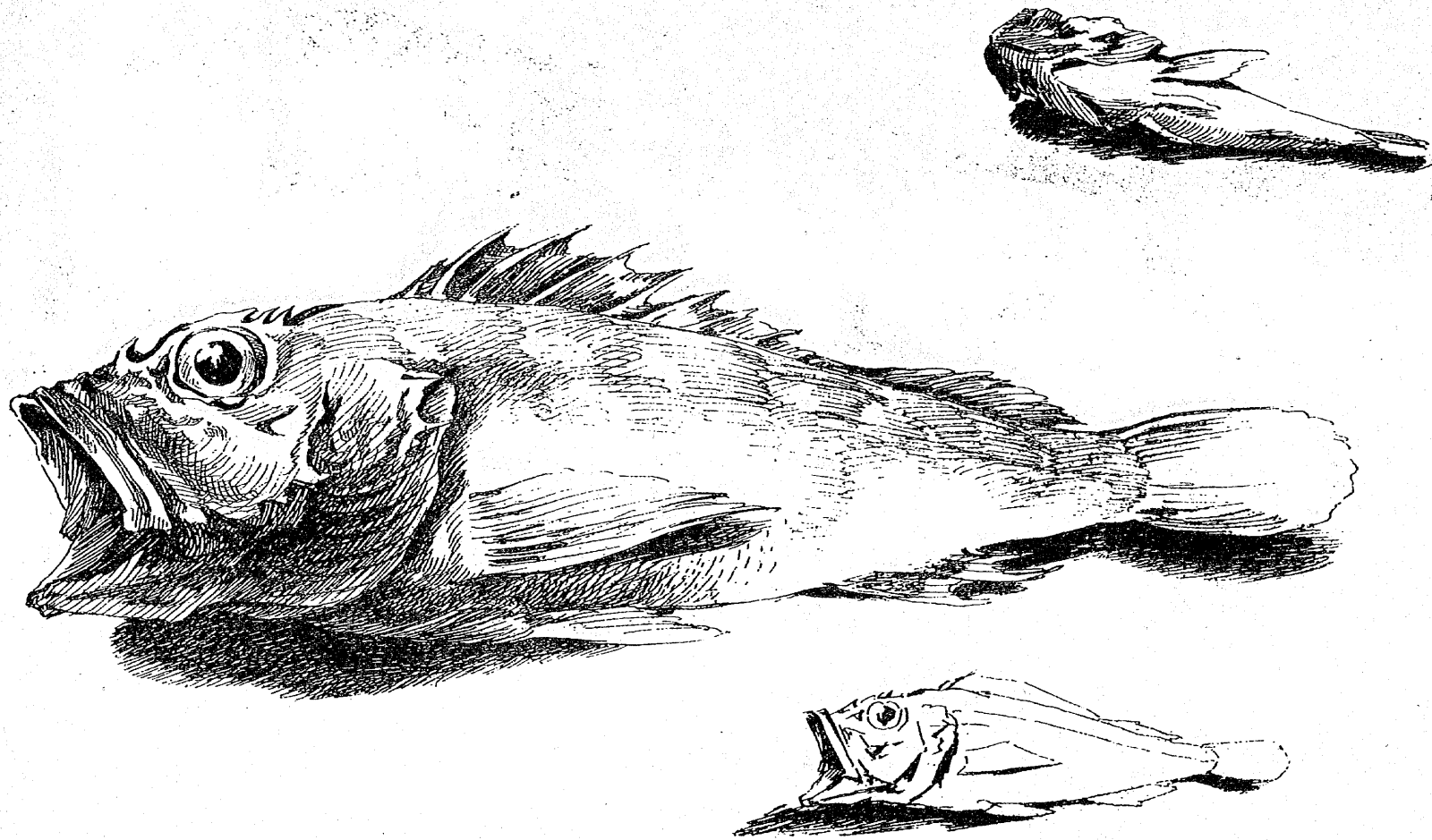


幾何形体及應用



9 (參考圖)

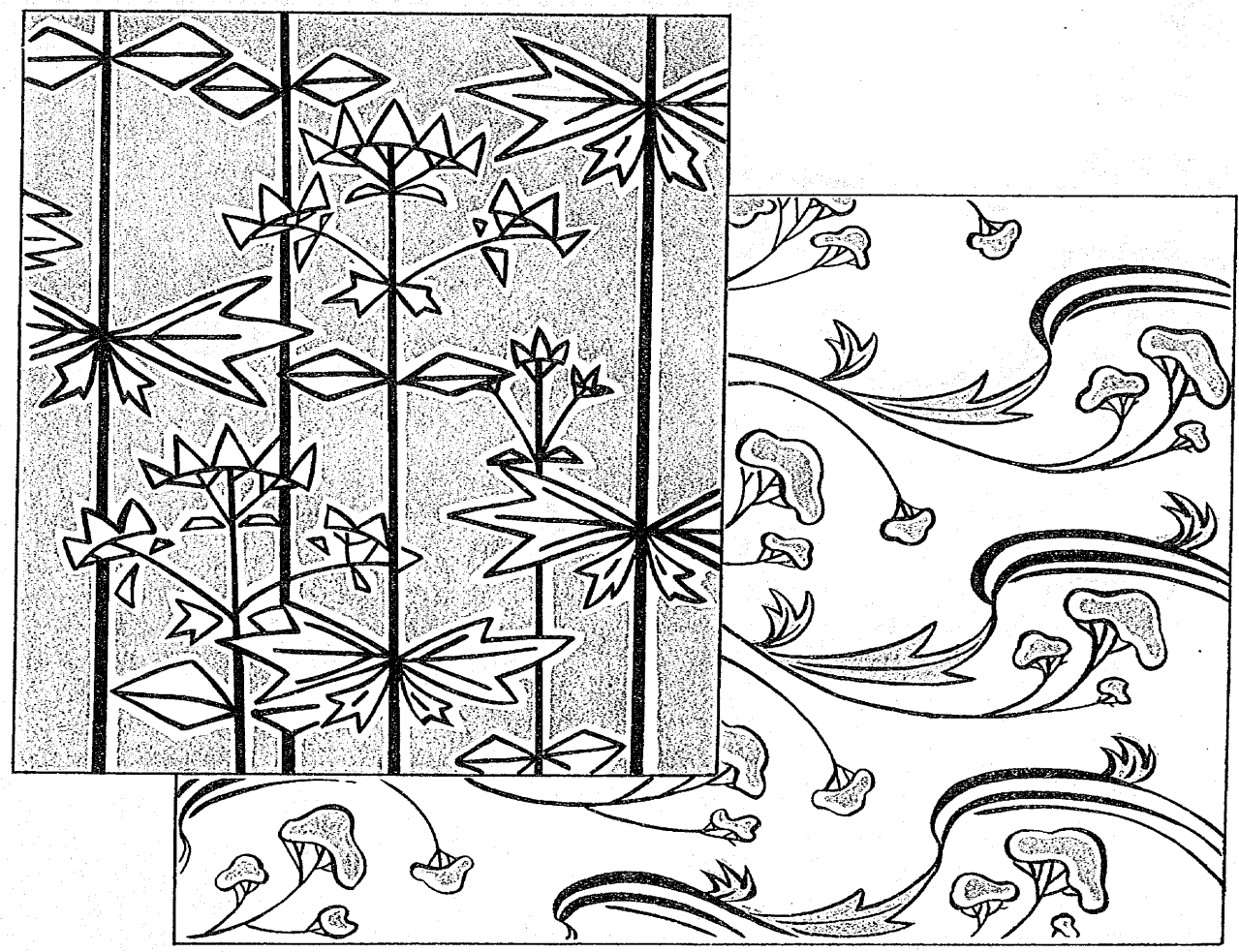
高等女學第壹卷第貳拾號



カサゴ

第 4 頁

高等女學第壹學年第一學期，十一



圖案

發行所 北村出版部

電話新橋九百番

東京市京橋區南金六町一番地

電話下谷九八六番

印刷所 精行社

東京市淺草區茅町二丁目三番地

印刷者 秋谷梅之助

精行者代表者

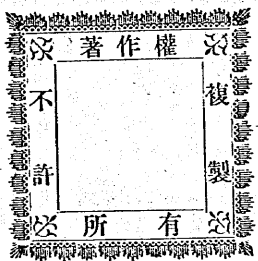
東京市淺草區茅町二丁目三番地

發行者 北村兼吉

東京市京橋區南金六町一番地

編者 圖畫教育會

東京美術學校內



明治三十七年十二月二十日發行
明治三十七年十二月十四日印刷

定價金二十五

一學年二期

